

セーフィー、店舗マーケティングを加速する「AI-App 人数カウント 属性Plus」を提供開始 映像データ×AIで来店客層の属性を見える化、現場の感覚値からデータに基づいた判断へ

クラウド録画サービスシェアNo.1（※1）のセーフィー株式会社（東京都品川区、代表取締役社長CEO 佐渡島隆平、以下「セーフィー」）は、来店客の属性を推定する「AI-App（アイアップ） 人数カウント 属性Plus」を、2026年10月8日より提供開始することをお知らせいたします。

これまで来店客層のデータが取得できなかったため、「現場の感覚」頼みだったお客様層の把握をデータ化することで、データに基づいた経営判断をすることが可能になります。来店人数の把握から人流分析、来店客層の把握までを一気通貫で実施でき、マーケティングから経営判断にまで幅広く機能をご活用いただけます。映像データとAIを活用し現場を数値化することで、「現場AX（AI Transformation）」を推進いたします。

なお、本機能で推定した性別や年代といった属性情報は、映像解析を通じて「統計数値」としてのみ蓄積・活用されるものであり、個人を可視化・特定するものではありません。

現場AX

AI-App 人数カウント 属性Plus

映像 × AIで 来店客層を読み取る

— POSデータでは取れない「買わなかった層」まで

自動集計
グラフ化

匿名処理
統計データ

safie

この画像は、セーフィーの「AI-App 人数カウント 属性Plus」のサービスを紹介する広告です。背景は明るい青と白の幾何学模様で、右側には3Dイラストの店舗内景が描かれています。イラストには、商品棚、衣類ディスプレイ、そして赤い枠で囲まれた来店客の姿が描かれています。左側には、サービスの特徴を伝えるテキストと2つの丸いアイコンがあります。アイコンには「自動集計 グラフ化」と「匿名処理 統計データ」と記載されています。右上には「現場AX」のロゴ、右下には「safie」のロゴが配置されています。

■本サービス開発および提供の背景

ECの拡大や顧客ニーズの多様化が進む中、実店舗を展開する小売・飲食企業においては、来店客層に合わせた差別化戦略や高付加価値なサービスの提供が不可欠となっています。一方で、これまでの店舗運営では「来店客の性別や年代といった属性」に関する客観的な情報収集が困難であり、各種マーケティングや施策展開が「現場の経験や勘」に頼らざるを得ない点が大きな課題でした。

こうした背景を受け、セーフィーは映像データとAIを連携した「AI-App 人数カウント 属性Plus」の提供を開始いたします。来店人数の集計のみならず、来店客層の属性をデータ化することで、データに裏付けられた根拠を元に、課題の解決や意思決定を後押ししてまいります。

■「AI-App 人数カウント 属性Plus」の概要と特長

1つのオプション契約で「人数カウント」と「属性カウント」の両機能を利用でき、既存の「AI-App 人数カウント」で可能な3機能に加え、属性カウント（通過人数属性カウント、立ち入り属性カウント）の機能が新たに加わりました。

本機能は、クラウド録画カメラ「Safie One（セーフィー ワン）」でご利用いただけます。

● AIによる高精度な属性推定

- ラインを通過・立ち入りエリアにおける人物の性別および年代を推定し、管理画面上でのグラフ化やCSVデータ出力に対応します。

● 現場と本部の双方で扱いやすいデータ設計

- 初速7日間の施策効果測定や長期的な動向把握に対応。店舗スタッフ自らが直感的にデータを確認できる画面設計に加え、専門部署やデータアナリスト向けにCSVダウンロード機能も備えています。

● 新機能のシームレスな追加を見据えたアーキテクチャ

- データベースおよびアーキテクチャを全面新設計し、拡張性の高いアーキテクチャを実現しました。今後はご要望の多い「プライバシーブラー加工」や中長期的な展望として「店舗スタッフ（制服）の除外機能」などのAI機能の実装も見据え、開発・検証を進めてまいります。

■想定しているユースケース

本サービスは、スーパーやドラッグストア、アパレルなどの専門店・一般小売業に加え、ファストフードやカジュアルレストランをはじめとする外食・飲食業界への導入を推進してまいります。

専門店・スーパー・ドラッグストア等の小売店舗

①専門小売

- ・新商品やマーケティング施策がターゲット層を狙えているかどうかの効果測定
- ・新業態やポップアップストアにおける来店層の把握から、出店の効果測定

②スーパー/ドラッグストア

- ・来店客層に合わせた品揃えや売り場づくりのサポート

③全般

- ・特設スペース等のイベントの集客効果を分析

飲食・外食チェーン企業

①全般

- ・新商品やマーケティング施策がターゲット層を狙えているかどうかの効果測定
- ・新業態や新規出店における来店層の把握から出店の効果測定
- ・来店客層に合わせたメニュー提供のためのデータ計測
- ・来店客層に合わせた客席の最適化
- ・来店客層に合わせた店頭POPの掲出

■今後の予定と目指す未来

セーフィーは「映像から未来をつくる」というビジョンを掲げ、防犯・遠隔確認やモニタリングの枠を超えた映像データの新たな価値創造に挑んでいます。

今後も、本サービスのアップデートをはじめ、店舗や各種現場のデータを可視化・データ化することで、深刻化する労働力不足への対策や店舗運営の効率化、ならびにフードロス削減やカスハラ対策といった社会的課題の解決に寄与するサービスの開発に努めてまいります。

現場におけるDXをさらに深化させ、AIが人々の業務をサポートし生産性を高める「現場AX」を推進してまいります。

■ 本サービスに関するお問い合わせ先

セーフィー株式会社お問い合わせページよりご連絡ください。

<https://safie.jp/contact/pro/>

(※1) テクノ・システム・リサーチ社調べ「ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査(2025)」より、エンジン別カメラ登録台数ベースのシェア(54.3%)

＊ セーフィーは「セーフィー データ憲章」に基づき、カメラの利用目的別通知の必要性から、設置事業者への依頼や運用整備を逐次行っております。

＊ 取得する情報はデータ取得者のみで閲覧し、法令に基づく場合を除き、個人データの第三者提供はいたしません。また個人の特定や追跡などの利用は行いません。

■ クラウド録画サービス「Safie(セーフィー)」とは



Safieはカメラとインターネットをつなぐだけで、いつでもどこでも映像を確認できるクラウド録画サービスシェアNo.1のサービスです。

「映像から未来をつくる」というビジョンのもと、人々の意思決定に映像をお役立ていただける未来を創造し、企業から個人まで誰もが手軽に利用できる映像プラットフォームを目指しています。

我々は「映像データであらゆる産業の“現場”をDXする」というビジネスコンセプトを掲げ、小売、土木・建設、製造、医療などのあらゆる現場のDXを率先して推進しています。

セーフィーは、データガバナンスに関する下記指針を遵守すると共に、ステークホルダーの皆様と協調して啓発活動にも取り組んでおります。また、社外有識者よりプライバシー保護などに関する助言を受けながら、指針及び実務上の運用基準の見直しを行っております。

- [データガバナンスに関する取り組み](#)
- [データ憲章\(2022年4月1日発行\)](#)

映像から未来をつくる

【セーフィー株式会社の会社概要】

所在地 東京都品川区西品川1-1-1 住友不動産大崎ガーデンタワー

設立 2014年10月

代表者 佐渡島 隆平

事業内容 クラウド録画型映像プラットフォーム「Safie」の開発・運営および関連サービスの提供

サービスサイトURL <https://safie.jp/>

コーポレートサイトURL <https://safie.co.jp/>

採用ページ <https://safie.co.jp/teams>

【本件に関するお問い合わせ先】

セーフィー株式会社

<https://safie.jp/>

Email pr@safie.jp

鈴木 章子 / 070-3351-1248